

臨床研究所 後藤 裕明 所長よりごあいさつ

臨床研究はこども医療センターに期待される重要な使命です。みなさんの研究成果や、臨床研究にまつわる様々な試み、情報をお知らせして、こども医療センターの研究活動を益々盛り上げるために、臨床研究室から広報誌を発行することになりました。今回が記念すべき第一号です。仲間の活躍を知ること、みなさんの心に眠るリサーチマインドが発掘されて、陽の光の下で輝きだすことを！



報告 賞受

薬剤科・感染制御室 清水 祐一 さん

第20回日本環境感染学会 学会賞

「月経後週数を考慮した新生児・乳児におけるバンコマイシンの初期投与量の検討」

受賞者からひとこと

感染制御室、薬剤科、新生児科の皆様のご指導のおかげで、このような素晴らしい賞を頂くことができました。臨床の薬剤師が行う研究を活性化することで患者さんやご家族に安全で安心な医療が提供できるよう、今後も精進してまいります。

[illegible]

医事・診療情報管理課 田中 祥子 さん

令和5年度日本医療マネジメント学会 学会賞

「高度医療セクレタリーがもたらした外来診療への複合的効果
—医師の業務負担軽減と経営的な貢献—」

受賞者からひとこと

高度医療セクレタリーは、外来での診療録の記載を中心に診療支援を行う医師事務作業補助者です。医師だけでなく外来スタッフや患者さんからも診察がスムーズになったという言葉の頂くことが増えたことから、患者待ち時間の短縮、診療録文字数の増加、医師と患者さんが対面で話をする時間の増加、等の効果を検証し論文としてまとめたものです。

医師が診察に集中できるように支援することで、今後は、診療の質の向上にも貢献できると考えています。

今回、多くの方の助言を頂き論文にまとめられたこと、また、学会賞を頂くことで多くの人が読んでくださる機会が増えたことをうれしく思っています。

今後、医師事務作業補助者が医療において欠かすことのできない存在となり、医療の質向上のために貢献できるように努力してまいりたいと思います。



XX



検査科 林 涼子 さん

第72回日本輸血・細胞治療学会 最優秀演題賞

「産科併設の小児専門総合病院における廃棄血削減の取り組み：
10年で1/10を達成」

受賞者からひとこと

血液・腫瘍科の浜之上先生、輸血検査室の神保さんを中心とした輸血委員会で様々な対策を講じたことや、日々の皆様の安全な輸血療法実施の取り組みの効果が結果に繋がったと感じています。また、発表を通して当院での取り組みにたくさんの関心を持っていただけた事を嬉しく思いました。

院内の安全な輸血療法実施のご協力に感謝しています。





学術集会 探検

第57回日本小児内分泌学会学術集会 大会長 内分泌代謝科 室谷 浩二 先生



2024年10月10日(木)~12日(土)
パシフィコ横浜ノースにて開催されました。
晴天にも恵まれ、現地参加者数 1079名
と大盛況のうちに幕を閉じました。

大会長挨拶

本学術集会のテーマを「探索と深化」としました。「探索」とは 未知の事柄などをさぐり調べること、「深化」とは物事や考え方を深めていくこと、の意味です。この学会に参加する可能性のある全ての方達に対して、常に (Clinical and/or Research) Question を持ち(探し)、その Question に対する Answer を求めて深く考え追求してほしいというメッセージです。本学術集会に参加する全ての臨床家、研究者が、小児内分泌の経験、年齢、ジェンダー、出身地域、興味の分野などによらず、同じ志をもつ仲間と「出会い」、「学び」、「教え」、「討論し」、それを楽しむ、そんな学術集会を目指します。



想像力は知識
よりも重要だ



会長講演 室谷 浩二

10月10日(木) 10:00~10:30

やってみないとわからないでしょ

Imagination is more important than Knowledge



金澤翔子さんの書字作品

アニーのパネル (KCMC から拝借)

黒澤健司先生から贈られたお花

で皆様をお出迎え。ゴージャス!

発掘後記

暑い夏も終わり、食欲の秋、読書の秋、研究の秋。はにわ通信第1号は、様々な職種で研究成果を上げられた方々を発掘。

医師だけでなく、コメディカルの方々も外部で大活躍。様々な分野の方々が医療の向上に努力、貢献している姿に感動しました。

また、横浜での学会開催、室谷先生お疲れ様でした。海外からのお客様も多く、KCMCを世界に発信する素晴らしい学術集会でした。

皆様からの発掘情報、お待ちしております。

臨床研究室の はにわばあや

